

ハゴミ立ソエ
テトルベシ

ノジコモウツ
鳥ノ如ク菜
種ヲ枝ナガラ
ハゴミソエテ
立ベシ

て元月頃迄の迄へ書眉々迄無お子の如きさまに
きつくとひきの方へ迄迄と元迄し族至るはひきよはぬまはる

○原。荏。ハ夏の初々麦のうれ口秋の末葉のうれ口はるる
大は時言なり羽子目日同様ふなり
ハ大ねふすなり
るて来り

○鵲。ハ夏の初々麦のうれ口秋の末葉の中はる
あり葉を遊ては引えりて安じふりたりはるはる時分
と引えたり葉へはるの鵲とてぐく果るものあり
る候候がは葉より出るも引えり葉のすうりうす